

事務事業評価シート

(H.30)No.	3044	(H.29)No.	3044
-----------	------	-----------	------

事務事業名	中山間地域等直接支払事業		
担当部署名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	岩本 靖之	

会計区分	事業コード	302102
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	日本型直接支払交付金事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業振興費	中山間地域等直接支払事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	1	農林資源
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
中山間地域において耕作放棄地の発生を防止し、災害の防止や安らぎの場の提供など、農地の多面的機能を保全する。
事業内容
中山間地域等は、過疎化・高齢化に伴う農業者の減少とともに、農地の傾斜が急勾配であるなど、農業生産条件が厳しく、耕作放棄地の増加が懸念されるため、生産条件のよい農地との生産費の格差相当額を農業者へ直接支払うことにより、条件不利地域での農業生産の維持と多面的な機能の確保を図る。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	中山間地域の農地の内、1ha以上の急傾斜農地を対象として助成金を交付する。	中山間地域の農地の内、1ha以上の急傾斜農地を対象として助成金を交付する。	中山間地域の農地の内、1ha以上の急傾斜農地を対象として助成金を交付する。	中山間地域の農地の内、1ha以上の急傾斜農地を対象として助成金を交付する。

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
中山間地域の農地の内、1ha以上の急傾斜農地を対象として助成金を交付する。	中山間地域の農地の内、1ha以上の急傾斜農地を対象として助成金を交付する。	中山間地域の農地の内、1ha以上の急傾斜農地を対象として助成金を交付する。

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		13,725千円		13,725千円	13,725千円	13,725千円	13,725千円
内訳(千円)	国・県支出金	9,557		9,557	9,557	9,557	9,557
	地方債						
	その他()	1,127		1,127	1,127	1,127	1,127
	一般財源	0	3,041	0	3,041	3,041	3,041
人工数	職員	0.16人		0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
	臨時職員等	0.12人		0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
②概算人件費	0千円	1,400千円	0千円	2,066千円	2,066千円	2,066千円	2,066千円
①+②総事業費	0千円	15,125千円	0千円	15,791千円	15,791千円	15,791千円	15,791千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
当事業の活用により、中山間地域における農地、農業用施設の適正な維持管理により、農地、農業用施設の保全と農業・農村の持つ多面的機能の確保ができた。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
当事業を通じて、中山間地域の農地、農業用施設の適正な維持管理を継続して実施することにより、施設の長寿命化や農地の荒廃防止等につなげていく。中山間地域の農地、農業用施設の適正な維持管理を継続して実施し、将来にわたって農業・農村の持つ多面的機能を確保していくために、当事業の継続が必要である。	第3次名張市農業マスタープラン